

サイ・トゥオンブリーの写真 —変奏のリズム—

会 期	2016年4月23日(土)～8月28日(日)
開館時間	9:30-17:00 (入館は16:30まで)
休 館 日	月曜日(ただし7/18(は開館)、7/19(火))
入 館 料	一般1,200円、学生・65歳以上1,000円、小中高600円
会 場	DIC川村記念美術館 千葉県佐倉市坂戸631 代表電話0120-498-130
主 催	DIC株式会社
特別協力	ニコラ・デル・ロッショ財団、ニコラ・デル・ロッショ・アーカイブ、 サイ・トゥオンブリー財団
後 援	千葉県、千葉県教育委員会、佐倉市、佐倉市教育委員会

概要

サイ・トゥオンブリー(1928-2011、米国ヴァージニア州生まれ)は、ロスコやポロックら抽象表現主義と呼ばれる巨匠たちの次世代にあたり、子どもの落書きを思わせる独特の画風で20世紀美術史にその名を刻んだ画家です。ボストン美術学院、ニューヨークのアート・ステューデント・リーグで絵を学び、学生時代からロバート・マザウエルらに画才を認められていました。1960年代以降はニューヨークの主要画廊やヨーロッパの美術館で個展や大回顧展が華々しく催されましたが、写真作品が発表されたのは1990年代に入ってからのことです。

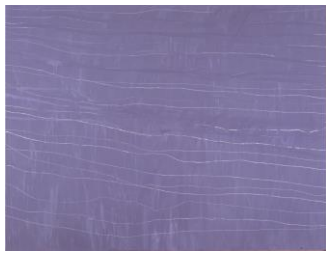
トゥオンブリーが写真制作を始めたきっかけは23歳の時に参加したブラック・マウンテン・カレッジの授業でした。このとき彼はピンホールカメラに熱中し、その後も絵画を中心とした創作活動のかたわら、おもにポラロイドで撮影が続けられました。17世紀の宮殿、大理石のテーブルに置かれたキャベツや朽ちてゆく花、制作途中の絵や画材が散るアトリエ、穏やかな海の眺め——いずれも作家にとっての日常風景ですが、写真の中の像は色と形が混ざり合い、実態が曖昧になることで、チューリップがローマ彫刻へ、静物が風景へと軽やかに姿を変え、私たちの視覚をより拡がりのある地平へ解放します。

本展はイタリアのニコラ・デル・ロッショ財団、ニコラ・デル・ロッショ・アーカイブの全面協力により、トゥオンブリーが1951年から2011年まで60年間にわたって撮影した写真作品のなかから100点を紹介する国内待望の展覧会です。併せて、絵画3点、彫刻4点、ドローイング4点、版画18点を展示し、異なるメディアを往還したトゥオンブリーの作品に通底する眼差しを、写真を介して結び結びます。

見どころ

写真を中心に絵画・彫刻・ドローイングも展示。トゥオンブリー芸術の全体を見通せる国内初の展覧会

トゥオンブリーの写真が初めて発表されたのは、1993年、ニューヨークのマシュー・マークス画廊での個展です。日本では過去にグループ展などで部分的に紹介されたことがあるのみで、本展が国内初の本格的なトゥオンブリー写真展になります。同時に展示される絵画・彫刻・ドローイングと合わせてトゥオンブリーの仕事の全体像を見通すことができ、特に彫刻の本邦公開は四半世紀ぶりとなる大変貴重な機会です。



1



2



3



4

- 1 《無題》1968年 家庭用塗料、クレヨン、カンヴァス 200x259cm DIC川村記念美術館蔵
2 《マグダでの10日の待機》1963年 鉛筆、クレヨン、油彩、カンヴァス 100x104.1cm 国立国際美術館蔵
3 《無題》1989年 塗料、ブロンズ 39x25x10cm サイ・トゥオンブリー財団蔵
4 《理想的結婚の風景》1986年 アクリル絵具、鉛筆、紙 54x73cm サイ・トゥオンブリー財団蔵
©Cy Twombly Foundation

アメリカ現代美術？ < ヨーロッパの古典的美意識

トゥオンブリーはアメリカ現代美術を代表する存在ですが、実際のところ、作品の多くはイタリアで制作されています。幼少期からローマに強い憧れを抱いていたトゥオンブリーは30歳で結婚を機に移住します。妻が裕福な貴族であったため、トゥオンブリーは城のような邸宅で古典絵画や大理石彫刻に囲まれて優雅に暮らしました。神話や歴史に関心を寄せていた彼は、2,000年前のローマ皇帝の逸話を史実と信じ、つねに古い時代に思いを馳せていたようです。写真に収められた日常が現実離れたロマンティックな景色に見えるのは、こうした作家の感性の表れでしょう。晩年はルーブルの天井画を手がけるなど、その創作はローマで逝去するまで続けられました。

画家のレンズが記憶した世界の手ざわり

作品にみられる薄いヴェールをかけたような独特の感触は、焦点が合いにくいポラロイドカメラの特性と、撮った写真をざらついた紙に複写するプロセスによって生み出されました。トゥオンブリーは全体像を客観的に記録することよりも、あたかも対象に触れてその質感を愛おしむように、自身が造形的な関心を抱いた部分をクローズアップすることを選んでいきます。像がぼんやりして何が映っているのか判別できないものさえありますが、いずれも夢の記憶をたどるような親密でもどかしい視覚体験を促すものです。自らを「ロマンティックな象徴主義者」と称したトゥオンブリーは、現実を主観のヴェール越しに写すため、あえて作品に盲目性を取り込んだと考えられます。

関連イベント

問い合わせ先 = 電話 043-498-2672 / E メール ticket@kawamura-museum.com

講演会「サイ・トゥオンブリーの写真」

講師 = 清水穰 (写真評論家、同志社大学教授)

5月28日(土) 13:30-15:00

整理券要予約 (空席がある場合は当日配布あり)

13:00 館内受付で整理券配布 | 定員 50名 | 入館料のみ

ゲストによるギャラリートーク

ゲスト = 田中義久 (グラフィックデザイナー/Nerhol) + ホンマタカシ (写真家)

7月23日(土) 13:30-15:00

予約不要 | 13:30 エントランスホール集合 | 定員 60名 | 入館料のみ

担当学芸員によるギャラリートーク

4月23日(土)、6月25日(土)、7月30日(土)、8月28日(日)

予約不要 | 14:00 エントランスホール集合 | 定員 60名 | 入館料のみ

ガイドスタッフによる定時ツアー

講演会・ギャラリートークを除く毎日

予約不要 | 14:00 エントランスホール集合 | 定員 60名 | 入館料のみ

コンサート「音楽で巡るサイ・トゥオンブリーの世界 —イタリア音楽からピンチャーまで—」

演奏 = 鈴木理恵子 (バイオリン)、若林顕 (ピアノ)

6月18日(土) 17:45 開場、18:00 開演

要予約 | 全席自由 | 一般 4,500円 友の会 4,000円 (当日入館料込み)

チケット発売日 = 友の会 4/13 (水)、一般 4/23 (土)

展覧会カタログ

執筆・編集 = 前田希世子

翻訳 = 前田希世子、ロバート・リード

写真提供 = ニコラ・デル・ロッショ・アーカイブ

デザイン = 田中義久

発行 = DIC 川村記念美術館

発売 = torch press

印刷・製本 = 株式会社八紘美術

表紙布張り/A4 変形 (23x27cm) /192 ページ/出品作全点カラー図版入り

一般価格 = 4,104 円 (税込) ※一般書店での取扱いも予定しております。

◆ミュージアムショップ店頭特別価格 = 2,800 円 (税込) ◆

本展会期中、当館ミュージアムショップに直接お越しいただいたお客様には特別価格にて販売します。

会期終了後および通販の場合は一般価格になります。

レストラン特別コース イタリア郷土料理めぐり

生涯の多くの時間をイタリアで過ごしたトゥオンブリーにちなんで、庭園のレストラン「ベルヴェデーレ」ではトゥオンブリーにゆかりのあるドロミーティ、ローマ、ガエータ、ウンブリアの各地の郷土料理を月替わりコースとしてご用意します。

4/23~5/31 南チロル地方のパスタと牛肉のシチュー [税別 2,000 円]

イタリア北東部、南チロル地方の山地ドロミーティは登山やウィンタースポーツの拠点となるリゾート地で、1956 年にはこの町を中心に冬季オリンピックが行われました。当地にはトゥオンブリーの妻の実家フランケッティ家の邸宅があり、トゥオンブリーは何度となくこの地を訪れて制作しています。

- ・ スツパ・ディ・オルツォ | 春野菜と大麦のスープ
- ・ スペッツレ | 柔らかく練った強力粉を湯に落として茹でる手打ちパスタ
- ・ グーラッシュ | 牛肉のシチュー
- ・ ライ麦パン | シェフがお店で焼いています
- ・ リンツァートルテ | アプリコットジャムを挟んだスパイス入りのタルト
- ・ 食後の飲み物 | コーヒー/紅茶/ピーチティー

図版掲載をご希望くださる方へ

- * 次ページの図版サンプルよりお選び下さい。350dpi 長辺 15 cm程度の画像をご用意しております。
 - * 事実確認をさせていただきますので媒体発行前にレイアウトを PDF でお送りください。
 - * 紙媒体は掲載物送付（掲載ページの PDF でも可）、web 媒体は公開用掲載ページの URL 通知をお願いします。
 - * このページを出力しファックスしていただくか、メールにてお申し込みください。
- いずれのお申し込み方法でも下記の必要事項をお知らせください。

お名前 _____ ご所属 _____

電話番号 _____ Eメール _____

媒体名 _____

掲載号 _____ 発行予定日 _____

コーナータイトル _____

執筆者名（記名原稿の場合） _____

図版 No.（複数可） _____

図版送付×切日（対応できない場合があります） _____

コメント _____

お問い合わせ・追加資料リクエスト先

DIC 川村記念美術館

TEL 043-498-2672（取材用） 0120-498-130（掲載用） FAX 043-498-2139

広報担当：海谷紀衣、小林千夏 press@kawamura-museum.com

学芸担当：前田希世子 kiyoko-maeda@ma.dic.co.jp

図版サンプル



No.1



No.2



No.3



No.4



No.5



No.6

[掲載用キャプション]

ご掲載にあたり、作品名・制作年・(技法、素材)・所蔵者名・著作権クレジットの表記が必須です。

図版を複数点掲載される場合、著作権クレジットは同じページ内に一度掲載していただければ結構です。

1. 《室内》1980年 カラードライブレプリント、厚紙 43.1x27.9cm 個人蔵
2. 《キャベツ》1998年 カラードライブレプリント、厚紙 43.1x27.9cm 個人蔵
3. 《ミラマーレ、海辺》2005年 カラードライブレプリント、厚紙 43.1x27.9cm 個人蔵
4. 《チューリップ》1985年 カラードライブレプリント、厚紙 43.1x27.9cm 個人蔵
5. 《スペルロンガ IV》2010年 カラードライブレプリント、厚紙 43.1x27.9cm 個人蔵
6. 《未完成の絵》2006年 カラードライブレプリント、厚紙 43.1x27.9cm 個人蔵

©Nicola Del Roscio Foundation, Courtesy Nicola Del Roscio Archives